

# 《吸入評価票》

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日

薬局名： (担当)

送り先：

連絡先：

担当医師：

患者ID：

F A X： ( )

ディスクス(薬剤名： )	
カバーとレバーをカチリと音がするまで開ける。	
ディスクスを水平に保つ。	
十分に息を吐いてからマウスピースをくわえる。 (吸入口に息を吹きかけない)	
ストローで水を吸うように、早く深く吸い込む。	
苦しくない程度に息止めをする。	
ゆっくり息を吐き出し、カバーを閉じる。	
「ぐじゅぐじゅ」と「ガラガラ」のうがいを2回行う。	

タービューヘイラー(薬剤名： )	
吸入器を立てた状態にして、ふたをはずす	
白い部分をひねって戻す	
「カチッ」という音を確認する	
十分に息を吐いてからマウスピースをくわえる。 (吸入口に息を吹きかけない)	
強く深く吸入する	
苦しくない程度に息止めをする。	
ゆっくり息を吐き出し、カバーを閉じる。	
「ぐじゅぐじゅ」と「ガラガラ」のうがいを2回行う。	

ツイストヘラー(薬剤名： )	
吸入器を立てた状態にして、ふたをはずす	
十分に息を吐いてからマウスピースをくわえる。 (吸入口に息を吹きかけない)	
強く深く吸入する	
苦しくない程度に息止めをする。	
ゆっくり息を吐き出し、カバーを閉じる。	
「ぐじゅぐじゅ」と「ガラガラ」のうがいを2回行う。	

定量噴霧式吸入器：MDI (薬剤名： )	
キャップを外し、よく振る。	
十分に息を吐く。	
(指三本程度離し・くわえ)て、ゆっくり息を吸い込みながらポンベの底を強く押す。同調できる。	
苦しくない程度に息止めをする。	
ゆっくり息を吐き出し、キャップを閉める。	
「ぐじゅぐじゅ」と「ガラガラ」のうがいを2回行う。	

エアロチャンバー(薬剤名： )	
MDIのキャップを外し、よく振る。	
MDIのアダプターと接続部をはめ込む。	
キャップを外し、十分に息を吐いてからマウスピースをくわえる。(マスクタイプは不要)	
MDIのポンベの底を強く押し、ゆっくり息を吸う。 (フローインジケーターが動くことを確認する。) (マスクタイプは3~5回呼吸を繰り返す。)	
苦しくない程度に息止めをする。	
ゆっくり息を吐き出し、キャップをつける。	
「ぐじゅぐじゅ」と「ガラガラ」のうがいを2回行う。	

クリックヘラー(薬剤名： )	
キャップを外し、よく振る。	
水色の部分を下向きに強く押す。	
十分に息を吐く。	
強く深く吸入する	
苦しくない程度に息止めをする。	
ゆっくり息を吐き出し、キャップを閉める。	
「ぐじゅぐじゅ」と「ガラガラ」のうがいを2回行う。	

Ver. 1 20150828

## 【医師への連絡事項】

○:できる △:次回要確認 ×:出来ない

残薬 あり なし

吸入手技・吸気流速に問題があるので、他剤への変更を検討下さい。

同調呼吸が難しいので、スパーサーの使用を勧めました。 受諾:使用開始 拒否(理由 )

副作用出現(嘔声 口腔違和感 動悸 振戦 )

その他 [

]

# 《吸入評価票》

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日

薬局名： (担当)

送り先：

連絡先：

担当医師：

患者ID：

F A X： ( )

ハンディヘラー(薬剤名 )	
キャップを完全に開け、内部にあるマウスピースを開ける。	
吸入の直前に1カプセルだけブリスターから取り出し、カプセル充填部に挿入する。	
マウスピースを「カチッ」と音がするまでしっかり閉める。	
マウスピースを上向きにして、側面のボタンを確実に一度だけ押してからはなす。	
十分に息を吐いてからマウスピースをくわえる。(吸入口に息を吹きかけない)	
強く深く吸入する。	
苦しくない程度に息止めをする。	
ハンディヘラーを口からはなし、ゆっくり息を吐き出す。もう一度吸入する。	
再びマウスピースを開ける。カプセル充填部の穴を下にして、使い終わったカプセルを捨てる。	
マウスピース及びキャップを閉める。	

レスピマット(薬剤名: )	
キャップを閉じた状態で上向きにして持つ。	
透明ケースを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回転させる。	
キャップを完全に開ける。	
息をゆっくり、最後まで吐き出す。	
マウスピースをしっかりと口にくわえる。	
息を口からゆっくりと深く吸いながら、噴霧ボタンを押す。	
できるだけゆっくり大きく息を吸い込む。	
苦しくない程度の間息を止める。	
もう一度繰り返す(1日1回(2吸入))。	
キャップは閉じておく。	

定量噴霧式吸入器：MDI (薬剤名: )	
キャップを外し、よく振る。	
十分に息を吐く。	
(指三本程度離し・くわえ)て、ゆっくり息を吸い込みながらポンベの底を強く押す。同調できる。	
苦しくない程度に息止めをする。	
ゆっくり息を吐き出し、キャップを閉める。	
「ぐじゅぐじゅ」と「ガラガラ」のうがいを2回行う。	

ブリーズヘラー(薬剤名: )	
キャップを外し、マウスピースを開ける。	
アルミシートから取り出した1カプセルをカプセル充填部に入れる。	
マウスピースを「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じる。	
吸入器を上に向けて持ち、両側の青いボタンを「カチッ」と音がするまで同時に押してから離す。	
十分に息を吐いてからマウスピースをくわえる。(吸入口に息を吹きかけない)	
強く深く吸入する。「カラカラ」音が聞こえる)	
苦しくない程度に息を止める。	
マウスピースを口からはなし、ゆっくり息を吐き出す。	
マウスピースを開き、本体を横に倒して空のカプセルを捨てる。	
マウスピースを閉じてキャップを元に戻す。	

○:できる △:次回要確認 ×:出来ない

## 【医師への連絡事項】

残薬 あり なし

吸入手技・吸気流速に問題があるので、他剤への変更を検討下さい。

同調呼吸が難しいので、スパーサーの使用を勧めました。 受諾:使用開始 拒否(理由

副作用出現(嘔声 口腔違和感 動悸 振戦 )

その他

Ver. 1 20150828

[ ]

# 《吸入評価票》

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日

薬局名： (担当)  
 連絡先：  
 患者ID：

送り先：  
 担当医師：  
 F A X： ( )

ジェヌエア(薬剤名： )	
キャップ両側の矢印を押して引っ張り、外します。	
吸入器本体の正面カウンターが赤色になっていることを確認します。(吸入前の状態)	
吸入器本体のボタンを下までしっかりと押して、離します。	
吸入器本体の正面カウンターが緑色になっていること確認します。(吸入準備ができた状態)	
十分に息を吐いてから、マウスピースを軽くかんで唇で包むように深くくわえます。	
強く、深く吸い込みます。(「カチ」という音を確認するまで吸い込みます)	
苦しくない程度に息を止める。	
マウスピースを口からはなし、ゆっくり息を吐き出す。	
吸入器本体の正面カウンターが赤色になっていることを確認します。(吸入できた状態)	
マウスピースを閉じてキャップを元に戻す。	

エリプタ(薬剤名： )	
カバーをカチリと音がするまで開ける。	
エリプタを水平に保つ。	
十分に息を吐いてからマウスピースをくわえる。(吸入口に息を吹きかけない)	
強く深く吸い込む。	
苦しくない程度に息止めをする。	
ゆっくり息を吐き出し、カバーを閉じる。	
「ぐじゅぐじゅ」と「ガラガラ」のうがいを2回行う。	

○:できる △:次回要確認 ×:出来ない

## 【医師への連絡事項】

残薬  あり  なし

吸入手技・吸気流速に問題があるので、他剤への変更を検討下さい。

同調呼吸が難しいので、スプレーの使用を勧めました。  受諾:使用開始  拒否(理由

副作用出現( 嘔声  口腔違和感  動悸  振戦  (

その他

Ver. 1 20150828

[ ]

- ディスカス (アドエア・フルタイド・セベント)
- ツイストヘラー (アズマネックス)
- タービュヘラー (シムビコート・パルミコート)
- 定量噴霧式吸入器：MDI
- ハンディヘラー (スピリーバ)
- (フルタイド・キューバル・オルベスコ・アドエア・フルティフォーム) (メフチン・サルタノール)
- レスピマット (スピリーバ)
- フリースヘラー (オンブレス・シーブリー・ウルティプロ)
- クリックヘラー (メフチン)
- ジェヌエア (エクリラ)
- 吸入補助器具 (エアロチャンバー)
- エリフタ (レルベア・アノーロ)

\* 1回\_\_\_\_吸入、1日\_\_\_\_回

\*\*発作止め：1回\_\_\_\_吸入、1日最大\_\_\_\_吸入まで

以下のことを説明・確認しましたので、吸入指導を宜しくお願い致します。

施設：\_\_\_\_\_ 医師：\_\_\_\_\_

FAX番号：\_\_\_\_\_ (患者ID：\_\_\_\_\_)

喘息  COPD  その他 (\_\_\_\_\_)

以下の指導を重点的にお願い致します。

吸入手技  薬効説明  継続の必要性  (\_\_\_\_\_)

治療ステップ  ステップ 1  ステップ 2  ステップ 3  ステップ 4

コントロール状態  良好  不十分  不良

急性増悪歴 (過去1年以内)  無  入院  救急受診  不明

薬剤アレルギー歴  無  有 (\_\_\_\_\_)

アスピリン喘息  不明

【患者様へ】

貴方に吸入薬を処方致しました。吸入薬は、直接患部に薬が届き高い治療効果が期待できると共に、全身性の副作用を少なくすることもできます。ただし、吸入薬を正しく吸入するのは意外に難しいことです。そこで貴方が薬を受け取る際に、薬剤師から吸入指導を受けることをお勧めします。

この書面により、診療医師から薬局薬剤師に、貴方の「病名や治療に関する情報」をお伝えします。薬剤師が貴方の診療情報を把握することにより、お薬の使い方や安全性等について適切に助言できると思われます。

【同意書】

私は吸入指導依頼箋について担当医師より説明を受け、吸入指導を受けることを同意して依頼致します。

平成 \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

署名 \_\_\_\_\_ (本人でない場合続柄： \_\_\_\_\_)